

第2節 人と自然との豊かなふれあいの確保

1 自然とのふれあいの推進

自然とのふれあいは、自然に対する理解を深め、自然環境保全の意識を育む大切な機会であることから、自然とふれあえる施設の整備や活動等を積極的に行います。

菜園としての機能の他、自然とのふれあい、休養、レクリエーション等の役割を果たすファミリー農園の整備と活用を進めます。

また、活動を推進するために自然学習等の指導者の育成や情報を提供します。

<実施事業等>

(1) 自然体験空間の整備

ア 自然体験ができる地域や施設の整備

自然豊かな葛川の森林や自然を体験できる葛川森林キャンプ村を管理運営しています。⁽¹⁹⁾

田上市民運動広場のキャンプエリアは、周辺環境を配慮して、平成16年度からデイキャンプエリアとして通年運営しています。桐生若人の広場も通年で運営しています。⁽⁵⁷⁾

比良げんき村は、琵琶湖が眼下に広がり深い緑に囲まれた野外活動施設です。天体観測施設や木工等実習室、キャンプ場、木製遊具、多目的広場等の施設があり、年間を通じて運営しています。⁽⁵⁷⁾

柳が崎湖畔公園整備事業で、旧水泳場敷地の公園整備に向けて占有物件の撤去が完了しました。⁽³⁵⁾

自然の中で集団宿泊体験ができる葛川少年自然の家を運営しています。⁽⁶³⁾

(2) 自然とふれあう活動の推進

ア ファミリー農園の整備と活用

市内の遊休農地を有効活用して市民が土に親しむ機会を提供することにより、農業への理解を深めることを目的に、ファミリー農園を開設しています。管理運営は大津市ファミリー農園運営委員会が行い、多くの市民に自然とのふれあいや収穫の喜びなどを体験していただきました。また、遊休農地の解消の一助ともなりました。

⁽¹⁹⁾

ファミリー農園の整備状況

	農園名	面積(m ²)	区画数
1	堅田一丁目	740	26
2	滋賀里	2,485	79
3	高砂	500	17
4	鏡が浜	2,050	80
5	国分西出	1,226	39
6	国分西出	1,378	50
7	北大路三丁目	1,850	61
8	黒津	1,481	51
	計	11,710	403

イ 自然観察会等の開催

身近な自然に触れ、自然を大切に守り育てる心を育むために、毎年、初夏と秋の年2回「自然観察会」を、市自然保護指導員連絡会と共催で開催して、植物や野鳥などの自然を観察しています。また、冬の琵琶湖を訪れる水鳥たちの生態を観察する「水鳥の観察会」も年1回開催しています。

それぞれに多くの市民が参加し、自然の美しさ、自然の中で過ごすことの楽しさを知ってもらうことで、自然の大切さを啓発しています。

ウ 一里山公園「緑のふれあいセンター」における活動

平成 12 年 4 月にオープンした一里山公園「緑のふれあいセンター」は、安全快適な心なごむ環境の公園で、花や緑に親しみ、育てることを通じて、高齢者や障害のある人、子どもたち、市民の方々など、さまざまな人々が交流し、互いに思いやりや助け合いの心を育んでいく施設です。公園内には、人々の交流と街の緑化のための講習やイベント等に活用できる多目的ホールや園芸に関する図書の資料コーナー、体験コーナー、花づくりのためのセルフガーデン「市民花園」や「運動広場」、「遊具の森」等があり、誰もが気軽にガーデンライフを楽しむことができます。

平成 20 年度に実施した事業は次のとおりです。

11 月に、「菊づくり教室」の受講者と愛好者による「菊花展」を開催し、菊を通しての交流の場となりました。⁽³⁵⁾

エ その他

平成 16 年度より運用している市民向け環境情報システム、Web版「かんきょう宝箱」で、自然とふれあう活動や場の情報収集・提供を行いました。⁽²²⁾

大津市自然保護指導員に対し、研修会を実施しました。⁽³⁵⁾

ホームページを通じて、農村等の地域のイベント情報を発信し、交流を促進しました。⁽¹⁹⁾

